

个儿道信107号

発行日:2022.8.20





発行:社会福祉法人つどいの家

つどいの家・コペル内 コペル通信編集担当

発行責任者:大累 貴司

〒984-0838 仙台市若林区上飯田 1-17-58

TEL: 022-781-1571 FAX: 022-781-1573

HP: https://www.tsudoinoie.or.jp/koper/-

Mail: koper@tsudoinoie.or.jp









つどいの家コペルでは、7月1日(金)に 1日を通して非常勤等職員研修を行いました。法人全体の非常勤職員、嘱託職員が参加 し、自閉症当事者による講演会や、職種を超 えてのグループワークを行いました。

ここでは、研修に参加された職員の感想を 紹介していきます。



講義を聞いて感じた事や、研修に参加して何か得たものはありますか?

理論的に説明されるより、当事者の方のエピソードを聞けてとても良かった。

グループワークで利用者の特性や年 月を経ての変化についてそれぞれの 思いを話したり、テーマ以外の利用 者の支援方法に意見を出し合えたり して、とても有意義な話し合いにな ったと思う。 実際に一つの物事に対してどう考えて(思考した上で)行動しているのか具体的に話を聞けて自分なりに理解が深まった。



学んだことを活かし、今度どのような支援をしていきたいですか?

一人ひとりの特性 に対応し、安心して 活動する場を設け ていきたい。 積極的に利用者との コミュニケーション を取り、自分に何の支 援が出来るのか、今後 模索していきたい。 「みんな違ってみんないい」を基本に、利用者目線で支援したい。

自分の固定観念ではなく、想像力を持って支援していき たいです。

普段の支援の中で利用者に選択してもらう場面が多々あります。意思表出も様々

で、職員は利用者が本当に選びたいものや伝えたいことをくみ取りたい一方で、日々その難しさを 感じています。一人ひとりのしょうがいの特性を理解する為に職員のスキルアップというものを常日頃か ら追及していく中で、「もしかしたらこうなのかも?」という事をこのコーナーのなかで紹介していきます。



絵:さきまる





はり絵をしている時





このコーナーでは様々な利 用者の「普段の食事のカタ チ」を掲載していきます。

本人が食べやすく、また目 でも楽しめる配慮などを紹 介していきます。



食事方法:少量ずつ職員が容器に入れてご自身で食べていただきます。 また、使いやすく食べやすい **専用のスプーン、食器を使います。**









After

Before

Point

① 食材は 食べやすい大きさ

に切ります!



ご本人の特徴として、歯の本数が少ない、歯茎が弱い、噛む回数が少ない事が挙げられます。

その為、食べる前に調理ハサミで小さく食材を 切って提供しています。

それにより飲み込んだ時にのどに詰まらないよ う工夫しています。



に取り分けて、自分で食べます!



食べる際口いっぱいに類張る事があるので、前記同様にのどに詰まらないよう、小さめスプーンを使用し、専用の食器に少しずつ提供してゆっくりと食べていただきます。

③ ご飯は 見えやすい食器

に代えます!

片方の視力が無いため、白いご飯が白色の 食器だと見えにくいので、色のある食器に代 えて、ご飯を見えやすくしています。

記:佐藤和







あの人ってどんな人?

えりか

好きな事

- ・イケメンが大好き **♥** 特にジャニーズ系のお顔。
- ・歌うことも大好き♪ (マイクを持ったらはなしません)



・地震は大嫌いです。

「緊急地震速報」の音は特に嫌いです。

・お面とか仮面を被っている人も苦手です。



- ・絵を描いたりするのが大好き!
- ・TV を見たり音楽を聴いたりしています。(ジブリ、サスペンス、お笑い何でも見ます!)





記:ご家族一同





- ・ **音楽を聴くこと。** (ノリノリの曲では踊っちゃいます♪)
- •YouTube を見ることが好き。
- ・食べる事も好きです。





苦手な事

- ・大きい音と暗いところが苦手です。 (バイクや花火、映画館など)
- でも…
- ☆花火は好きなので耳を塞いで楽しんでいます。 ☆夜は真っ暗にしないと寝ないんですよ。



- ・コペルから帰宅後は YouTube や TV アニメ で楽しんでいます。
- 休日はママとウォーキングしています。



ひとりごと チャネヘー・

~第7回仙台自分づくり教育アワード 功労者受賞~

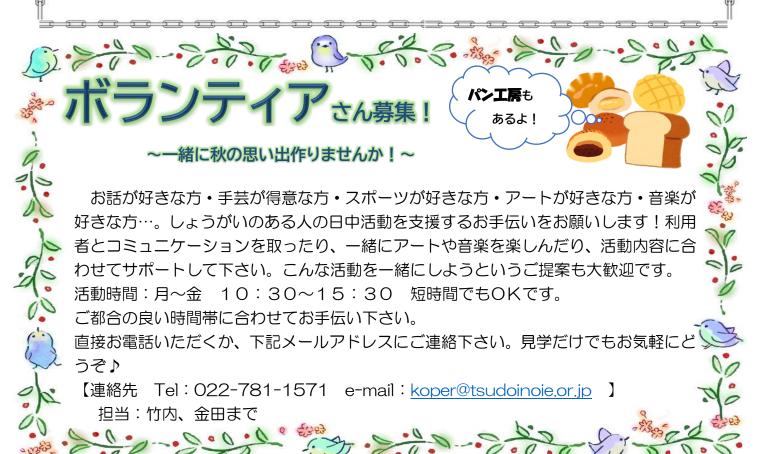
管理者习与以

仙台市内の中学校では、「職場体験活動」という取り組みがあります。地域の中の企業や団体に出向き、働くことに対する知識を学び、子どもたちが将来どのような仕事に携わりたいのか、自分づくりを教育の課程の中ではぐくんでいくことを目的にしている取り組みを平成 17年度から仙台市で行っております。つどいの家・コペルに限らず、法人内の生活介護事業所においても同様に、職場体験実習の場として、今まで多くの地域の中学生のみなさんに訪れてもらいました。中学生にしょうがいのある人への理解関心を知ってもらえるほか、福祉の仕事への魅力を感じてもらえるきっかけになっていると実感しています。



この度、第7回仙台市自分づくり教育アワードにおいて、6年以上にわたり子どもたちの職場体験活動をはじめとするさまざまな活動に継続して受け入れた団体に贈られる功労者表彰を受賞しました。当法人に限らず、35団体が表彰を受け、さらに特別功労者表彰として、12の団体が受賞しました。

新型コロナ感染症の拡大で自粛せざるを得ない状況もありますが、今年もたくさんの中学生がつどいの家の職場体験に来てくれています。今後とも、地域の中で、たくさんの中学生のみなさんとの関わりがもてるように努力していきたいと思います。 記:大累



編集後記

今年も蒸し暑さが襲う季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか?コペルでは熱中症対策をしつつ、 ミニトマトの収穫や水遊びなど、この季節ならではの活動も行っておりました。水分補給を忘れずに、今年も夏を乗りきっていきましょう! 記:清水